

# 岩手労福協

発行

(一社)岩手県労働者福祉協議会  
盛岡市大通1丁目1-16 岩手教育会館3F  
TEL (019) 654-3082

発行責任者 伊藤 裕一  
編集責任者 菅野 健司

No.170 2024年1月16日発行



## 2024年 平和をまもり共助の輪を広げよう

一般社団法人岩手県労働者福祉協議会

会長 伊藤 裕一

新年明けましておめでとうございます。  
新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の取り扱いが5類となり、3年半にわたるコロナ禍も一応の区切りとなりました。この間、不安を抱えながら、社会・経済活動が継続できるよう、日夜ご尽力いただいたすべての働く仲間に対し、敬意と感謝の意を表します。

また、徐々に対面による活動が再開される中で、各構成団体及び各地区労福協の皆様のご協力により、労働者福祉事業を推進できましたことに、心から感謝を申し上げます。

さて、2022年からはじまったロシア・ウクライナ戦争は、未だ停戦には程遠く、ウクライナ国内のインフラ破壊など被害が拡大しています。加えて、イスラエル軍によるパレスチナ自治区ガザ

への軍事攻撃が続き、多くの一般市民や子どもたちが犠牲となっています。このような戦争行為は、いかなる理由をもってしても正当化してはなりません。すべての関係国と国際社会が平和のために行動することを強く望むとともに、一刻も早い停戦を願うものです。

岩手労福協は、創業の精神である「福祉はひとつ」「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社会をつくります」との理念に基づき、仲間の総力をあげて、労働者福祉運動を推進してまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力ををお願いいたします。

結びに、今年1年、皆様のご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。



## 2024年 年頭挨拶

労働者福祉中央協議会  
会長 芳野友子



新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を一変させ、格差や貧困、社会の分断が深刻化し、日本社会の脆弱性が浮き彫りになりました。社会経済活動の回復は進みつつありますが、単にコロナ前の状態に戻すのではなくより良い社会とすべく、公的セーフティネットの強化を求めていく必要があります。

物価高の影響は生活者を直撃し、子ども食堂など地域に寄り添った支援がますます必要とされます。労働者福祉運動と共に助の輪の拡大に向け、労働団体・事業団体・地方労福協が、それぞれの立

場で取り組むことが求められます。中央労福協はその結節点の役割を果たし、社会的連帯経済（SSE）の担い手として、NPOや市民団体、社会的企業とのつながりを深めていきます。

すべての働く人の幸せと豊かさをめざした、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向け、これまで以上に皆さまのお力を寄せいただくことをお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年の  
ご挨拶  
2024

## 継続は力

連合岩手  
事務局長 鈴木圭



あけましておめでとうございます。

旧年中は連合岩手の取り組みにご理解とご協力を賜りましたことに感謝と御礼を申し上げます。

昨年は原材料やエネルギーの価格高騰と食料品を始めとする物価高が進みました。2023春闘における賃上げは一定の成果をあげましたが、生活費が増加したことにより実質賃金低下が続いています。成長なきデフレ社会を脱却するためには、バランスのとれた経済成長が必要であり、その一端を担う生活者の賃金底上げは私たち労働組合が重要な役割を担っています。賃上げを継続させるため組織労働者の力を結集し2024春闘を取り

組んでいきましょう。

労働条件の向上を大きな柱に据える連合を中心とした労働組合と、勤労者や生活者に寄り添った福祉型社会の実現をめざす労福協の活動は、勤労者や生活者が文化的な生活を営む環境を創るための重要な活動です。

連合のスローガンである「社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう」を共有の認識とし、2024年の活動に邁進することを誓います。

今後の活動に対するご支援とご協力を願い申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。



## だれもが安心して生活できる社会の実現

平和環境岩手県センター  
議長 佐藤 工

新年あけましておめでとうございます。

日本経済は回復基調と言われるもの、労働者にとっては実感がなく、厳しい状況が続いています。賃金の低迷は先進国の中でも際立っており、1人当たりの実質賃金は、この30年で、アメリカは1.47倍、イギリスは1.44倍、ドイツは1.34倍、フランスは1.30倍に増えているのに対して、日本は1.03倍にとどまっています。更に日本は所得格差も大きく事態は深刻です。相対的貧困率でもアメリカをも上回る最悪の水準となっていました。

平和環境岩手県センターは、だれもが安心して

生活できる社会の実現のため、今後も運動を展開していきます。また、スローガンである「平和憲法の理念を活かし、平和と環境、基本的人権と民主主義を守り発展させるため、すべての労働者・生活者との連帯を強め、地域に根ざした運動を展開しよう」を達成するとともに、労働者福祉の発展に向けて努力してまいります。2024年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 物価上昇を上回る賃上げで経済の好循環を

岩手友愛会  
会長 山田 清秋

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスが5類に移行したことから日本経済は回復基調になりましたが、後半では物価高や海外経済減速などの影響から回復に一服感がみられました。不安定な国際情勢や円安などが続くことで、エネルギー関係や食料品を中心に消費者物価の上昇も継続しました。2023年賃金闘争の結果は、3%以上の賃上げとなりましたが、労働者全体の名目賃金は、物価上昇に追いついていない状況のままとなりました。

2024年賃金闘争では、岩手友愛会に集う労働組合が、組合員とその家族の生活を守るために、

様々な格差是正と物価上昇に見合う賃金の引き上げを実現し、全ての労働者の賃上げに波及させ、経済の好循環につなげたいと思います。

本年も、魅力ある岩手県の実現に向けた政策実現活動をはじめ、更なる活動の充実を図りたいと思いますので、労働者、生活者のため、自由にして民主的な労働運動を実践する岩手友愛会をよろしくお願いいたします。



## 21年目のスタートに、未来の幸せを想う

東北労働金庫岩手県本部  
本部長 金田一 文 紀

新年のお喜びを申し上げますとともに、「ろうきん運動」へのご理解と職場での推進に深く感謝申し上げます。

統合から21年目を迎える本年は、東北労働金庫にとって新たな第8期中期経営計画をスタートさせる年となります。第8期中計では、当庫の強みである「あいたい取引」を強化することで、資産形成や資産運用のお手伝いや、生活応援運動の中で会員の皆さんに寄り添った相談・提案活動を展開してまいります。

また、「ろうきん理念」の実践となる「ふれ愛預金」や大学生ボランティア活動向け助成金制度

「未来へのタスキ」等の社会貢献の取り組みを発展させることで、地域における存在感を高め、地域に根差した金融機関として、広くお客様の利用拡大に努めてまいります。

本年も、働く人の一番そばにある生活応援バンク「ろうきん」をよろしくお願い申しあげます。



新年の  
ご挨拶  
2024

## たすけあいの輪のはじまり

こくみん共済 coop 岩手推進本部  
本部長 佐藤伸一

岩手推進本部代表委員会、岩手労済生協理事会を代表し、新年のお慶びを申し上げます。

「誰もが入れる保障があれば安心して働く」「労働者でも入れる保障がほしい」という切実な願いから1954年12月大阪で始まった火災共済が「労働者共済事業」のはじまりです。

本県では1961年岩手県労働者共済組合が設立され、翌62年に岩手県労働者共済生活協同組合が県知事の認可を受け事業を開始しました。

当時の阿部千一知事に提出された設立趣意書には「岩手県においても労働者団体9万人の結集を図り、お互いの助け合い事業として火災共済事

業を確立し、平和とよりよき生活を目標にして、ここに岩手県労働者共済生活協同組合を結成し、安定性の高い共済事業を実施せんとするものであります」と記されています。

大阪での誕生から70年。全国組織は「労済連」から全労済となり、現在の「こくみん共済 coop」として発展してきました。

今年もみなさんとともに「みんなのたすけあいで、豊かで安心できる社会づくり」に向けがんばってまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



## 暮らしにいちばん近い保障でありたい

一般財団法人ピネス共済会  
理事長 藤岡英昭

新年のお慶びを申し上げますと共に、ハピネス共済会へのご理解とご協力に厚く感謝申し上げます。

さて、当共済会は認可特定保険業者となって10年、本年2月には法人設立55周年の節目を迎えます。この間、医療共済の入院給付を中心に保障の充実をめざし、団体型「ハピネス」・団体移行型「マイハピ」・個人型「ペっこぶらす」の制度改定を通じて、より一層皆様にとって身近でお役に立てる共済となるよう取り組んでまいりました。また、子会社の(株)きょうさいライフによる不動産事業等についても、お客様本位の視点

で事業をおこなってまいりました。

法人設立の趣旨である「労働者の福祉向上、県民の消費生活水準の向上」の実現に向け、会報発行などによる会員の皆様との相互交流を充実させながら、身近で信頼される共済としてご利用いただけるよう役職員一同努力していく決意でありますので、本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。

新年の  
ご挨拶  
2024



## 地域のくらしをささえる相談窓口をめざして

消費者信用生活協同組合  
理事長 大坪勝利

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

当組合は、組合員ならびに地域住民のくらしを支えることを目的とし、くらしの相談と貸付を行う生協として今年で設立55周年を迎えることになりました。

昨年は長期化するコロナ禍の影響に加え、物価高騰の影響から生活困窮を訴える相談が増え、さらに減少傾向であった多重債務関連の相談も増加に転じました。家計改善を必要とする経済的な悩みの背景には就労や医療・介護など複雑な問題が絡み、地域の相談機関における連携の重要性が年々高まってきております。当組合としても貸付

によるくらしの支援事業を推進するほか、他の相談機関と連携した相談ネットワークの構築を重視し、役職員一丸となって地域住民が安心して利用できる相談窓口を目指していく所存です。

みなさまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げるとともに、本年も当組合事業への変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## 教職員や子どもたちに役立つ学校生協に

岩手県学校生活協同組合

専務理事 沼田 聰

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻が続く中、イスラエルとパレスチナのガザ地区との紛争が勃発し、北朝鮮のミサイル発射も断続的に行われるなど、平和を脅かす状況は深刻さを増し、暮らしま物価高騰によって大変厳しい一年でした。

このような中、共同購入ポイントや車検・灯油積立還元など組合員への期中還元を実施し、社会貢献事業としては、ファミリー月間やガソリン利用による支援金から沿岸4地区へ被災地支援金

を贈呈、また、中学校と高等学校の文化・体育連盟や教職員の研究会2団体への助成など、事業と運動を着実にすすめているところです。組合員活動では、退職後の生活に役立つ「ライフプランセミナー」、産育休中の組合員のための「子育て交流ランチ会」などを企画開催しました。本年も、平穏で安心して暮らせる社会を目指して、「安全・安心」を第一に、組合員の声に基づいた事業とサービスの提供に努め、教職員や子どもたちに役立つ学校生協となるよう取り組んでまいります。

新年の  
ご挨拶  
2024



## 岩手県学校生活協同組合

毎日の生活に必要な食品・日用雑貨をカタログ・インターネットで注文。  
職場やご自宅に商品をお届けします。

はじめませんか



# 共同購入Week



※ご利用には岩手県学校生協への加入と共同購入利用の申込みが必要です。

岩手県学校生活協同組合 本部  
フリーダイヤル 0120-112-246

受付時間：平日8:30～17:30

共同購入利用申込み &  
お問い合わせフォーム

<https://www.igcoop.or.jp/>



[個人型・終身]  
**ペっこぶらす**

- 入院
- 手術
- 死亡
- 退院後通院(ケガ)
- 健康祝金

[団体型]  
**ハピネス**

- 入院
- 手術
- 死亡
- 退院後通院  
(取扱いありの場合)

[移行型・終身]  
**マイハビ**

- 入院

「医療共済ハピネス」  
からの移行専用！

**岩手県民の暮らしに  
いちばん近い保障でありたい**



ハックル

**ハピネス共済会**

一般財団法人 ハピネス共済会

〒020-0821 岩手県盛岡市山王町10番6号 山王ハイツ  
TEL 019-652-3195・FAX 019-654-7262

**0120-41-3816**






**お金のこと  
くらしのこと  
信用生協に  
ご相談ください**

どのようなことについて  
相談できるの?

**くらしを支える  
融資の生協**

**盛岡**  **0120-101-245**  
盛岡市南大通1-8-7 CFCビル2階

**北上**  **0120-101-612**  
北上市大通り1-3-1 北上開発ビル2階  
(おでんせプラザぐらぶ)

**釜石**  **0120-101-965**  
釜石市中妻町3-11-5 フォレスト201

**CFC** 消費者信用生活協同組合  
<https://www.cfc-ss.coop/>

詳しくは   

